



5
19

供 述 調 書	
本 籍	[REDACTED]
住 居	[REDACTED]
職 業	会社役員
氏 名	馬 田 明
	[REDACTED] 日生 (歳)
上記の者に対する 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律違反 被疑事件につき、令和2年11月30日、東京地方検察庁において、本職は、 あらかじめ被疑者に対し、自己の意思に反して供述をする必要がない旨を告げ て取り調べたところ、任意次のとおり供述した。	
1	当社、つまり、私が現在代表取締役社長を務める東邦薬品株式会 社は 独立行政法人地域医療機能推進機構、略称「JCHO」 が平成28年6月及び平成30年6月にそれぞれ実施した医薬品単 価購入契約一式の一般競争入札に関し、営業統轄本部医薬営業本部 病院統轄部に所属していた [REDACTED] らが中心となり、当社とともに 「医薬品4大卸」などと呼ばれていたアルフレッサ株式会社、株式 会社スズケン及び株式会社メディセオの各入札担当者らとの間で、 入札前に受注予定業者を決め、受注予定業者が実際に各医薬品群を 受注することができるように入札価格を交換して協力をするなどの いわゆる「受注調整」をしました。 その事実、昨年11月に当社が公正取引委員会による強制調査 を受け、当社においても、 [REDACTED] やその部下らから事実確認をし

検 察 庁

- 1 -



た結果、間違いのない事実であると、私も認識しています。

これらの入札当時、私は、当社の専務取締役であると同時に、本件各入札を担当していた病院統轄部を指揮する営業統轄本部長兼医薬営業本部長を務めるとともに、病院統轄部長も兼任していました。

これらの入札に関し、私は、当時、具体的な受注調整の状況などについて報告を受けたことはありませんでしたが、ここでは、本件各入札での受注調整などに対する私の認識や、私がそれ以前に同様の受注調整などに関わった経験などについてお話しします。

以後、ＪＣＨＯによる医薬品単価購入契約の一般競争入札のことは、それぞれ実施された年に応じて「平成２８年ＪＣＨＯ入札」、「平成３０年ＪＣＨＯ入札」などと呼ぶほか、人名や会社名、団体名などの固有名詞に関しては、最初に正式名称を使ってお話しした後、後は、他と区別ができる程度に省略しながらお話しします。

2 まず、前提として、私の経歴についてお話しします。

私は、昭和６１年４月、当社に入社し、それ以来、当社の東京営業部東京病院第一部や営業統轄本部医薬営業本部病院統轄部などに配属され、主に、医薬品卸売の営業担当を務めた後、平成２０年５月、病院部長に抜擢されました。

なお、平成２０年５月当時の病院部がその後名称変更された現在の病院統轄部であり、広域病院組織などを担当する業務内容は同じですので、ここでは、「病院統轄部」と統一してお話しします。

その後、私は、平成２１年４月に当社執行役員営業本部副本部長、平成２４年７月に当社取締役医薬営業本部副本部長、平成２７年６

月に当社常務取締役営業統轄本部副本部長兼医薬営業本部副本部長にそれぞれ昇進するとともに、同月、東邦ホールディングス株式会社の執行役員に就任しました。

さらに、私は、その後の平成28年6月10日付けで、当社専務取締役営業統轄本部長兼医薬営業本部長に昇進するとともに、東邦ホールディングスの取締役役に就任しました。

私は、平成21年4月に当社の執行役員となって以降、今お話ししたような役職に順次就いたわけですが、それまでの間、他の役職とともに、病院統轄部長の役職も兼任したままであり、平成30年7月に、病院統轄部長の兼任が解除となりました。

その後、私は、令和元年6月、当社代表取締役社長に就任すると同時に、東邦ホールディングス専務取締役に就任し、現在に至ります。

このように、私は、当社に入社して以降、基本的にずっと営業畑を歩んできており、現在、東邦ホールディングスの代表取締役社長であり当社の取締役でもある有働 敦 とともに、東邦ホールディングスのトップ、つまり同社代表取締役会長CEOである瀧田矩男を支えながら、東邦グループ全体を盛り立てています。

3 私は、本件各入札当時、今お話ししたように、本件各入札を担当する病院統轄部の部長を兼務していました。

ただ、結論からお話しすると、私は、本件各入札の際、営業担当者の[]やその上司の[]から、「情報専用用紙」などの書面で、各入札前に、入札公告があったことなどの報告を受け、各入札

後に、落札結果などについて報告を受けたものの、その間に、当社を含む医薬品４大卸の入札担当者らの間で受注調整を行っていた状況などに関する経過報告は受けていませんでした。

もともと、私は、それまでの私自身の経験などから、ＪＣＨＯ

などによる医薬品の共同入札、

などにおいて、当社を含む医薬品卸売業者の間で、受注調整が当たり前のように行われていたことは昔から承知しており、引き続き、同様の受注調整が行われているであろうことは分かっていました。

ですから、私は、やから、ＪＣＨＯの各入札結果に関する書面報告を受けた際にも、各書面に記載されていた当社の受注シェアなどの数字が、入札参加した他の医薬品４大卸の入札担当者らとの間で「上手くやった結果」、つまり各社が譲るべきところは譲り、主張すべきところは主張して、最終的にはお互いに話し合い協力し合って受注調整をした結果なのだろうと思っていました。

当然のことながら、私は、社内での法令遵守・コンプライアンス向上に関する教育の場や自己研鑽を通じて、そのような受注調整が自由な競争を阻害するものとして、独占禁止法で禁止された違法な行為であることも認識していました。

しかし、私は、そのような理解や認識をしながらも、当社の売上

や利益、受注シェアの確保を優先し、入札担当者に対し受注調整を止めるように指示するなどして、受注調整をなくすようなアクションを行いませんでした。

4



The image shows the front cover of a book. The main part of the cover is a dark, textured material, possibly cloth or leatherette, in a deep charcoal or black color. On the left side, there is a vertical strip of a lighter, off-white or cream-colored material, which appears to be the spine or a half-binding. The texture of the dark material is slightly grainy. The overall appearance is that of a classic, possibly academic or literary, book.



6	その後、私は、最初にお話ししたとおり、平成20年5月、当社の病院統轄部長となり、平成30年7月に解除されるまでの約10年間、当社役員や営業本部長などの職と兼任していました。 その間、全国規模の共同入札に関して言えば、 一般社団法人全国社会保険協会連合会、略称「全社連」 独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構、略称「R F O」 による共同入札が始まり、平成26年度からは、R F Oが改組されるなどして設立されたJ C H Oによる共同入札が導入されました。 そして、私の理解では、平成28年5月下旬頃 までは、他の医薬品卸売業者との受注調整については、主に が自ら参加して交渉していたものと思っており、 時期によって異なりますが、それに付随する事務などを の部下だった らが担当していました。

検 察 庁



■

なお、■は、当社を定年退職した後も、特別嘱託や顧問などの肩書きで病院統轄部に残り、■全社連、RFO、JCHOなどの全国規模の共同入札に関わっていました。

他方で、■平成28年6月以降、つまりJCHOによる本件各入札については、■と■が中心となって担当していたものと私は認識しており、他の医薬品4大卸の営業担当者らとの間の受注調整などについては、特に誰からも報告を受けたことはなかったものの、その2人が中心となって対応しているだろうと、私は思っていました。

私は、■全社連、RFO、JCHOによる各共同入札の際、■の■前は■から、■後は■らから、各入札前に入札公告があったことなどの情報について、入札後には当社をはじめとする各社の受注シェアがどうなったかなどの入札結果について、それぞれ書面による報告を受けていました。

しかし、私は、■や■、■らが、他の医薬品卸売業者の営業担当者らとの間で、具体的にどのように受注調整を行っているのかについては、基本的に報告を受けていませんでした。

これは私の想像になりますが、おそらく、■は、元々、私とそりが合わなかったことに加え、上司と部下の立場が逆転したことを快く思わなかった意地やプライドがあって、私に途中経過を報告することは敢えてせず、また、■や■などの■の部下から私に報告させることもしなかったのだろうと思っていました。

ですから、私は、これらの全国規模の共同入札について、■

検 察 庁

■

■や■が、上手く受注調整をやっているのだろう。仮に、アルフレッサやスズケン、メディセオの営業担当者らとの間で揉め事が起きても、百戦錬磨の■が、譲るべきところは譲り、主張すべきところは主張して、折り合いをつけているのだろう。」と思っていました。

そして、私は、このように、これらの共同入札などの際に違法な受注調整が行われているであろうことは重々承知しながらも、言わば「触らぬ神に祟りなし」で、それが当社の売上や利益の確保につながるものであれば仕方がないと考えて、長期間にわたり黙認してきたのでした。

7



28	

検 察 庁



9

以上のように、私は、過去に、当社の他の営業担当者が入札や見積合わせなどの際に、競合相手の医薬品卸売業者の営業担当者らとの間で受注調整を行っている状況を見聞きし、また、数は少ないものの、私自身が直接、受注調整に関与した経験もありました。

そのため、私は、本件の平成28年JCHO入札及び平成30年JCHO入札については、やらから、受注調整を行うことや、その途中経過などに関し、報告や相談を受けたり、何か私が指示したりしたこともありませんでしたが、入札結果の報告を書面で見た時には、その結果が他の医薬品4大卸の営業担当者らとの間で上手く受注調整を行ったものなのだろうと思っていたのです。




偽造入の目の前で、上記のとおり口述して録取し、読み聞かせ、かつ、閱讀させたところ、誤りのないことを申し立て、末尾に署名押印した上、各ページ国外に押印した。

前 同 日

東京地方検察庁

検察官 検事

検 察 庁



檢察事務官

檢察庁



これは謄本である。

令和3年3月18日

東京地方検察庁

検察事務官

